

患者さんへのコミュニケーション機器の導入で、どのようなことに困っていますか？あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. どのような機器があるのかわからない。－18
2. 機器の使い方がわからない。－20
3. 患者さんがコミュニケーションに積極的でない。－3
4. 患者さんのご家族がコミュニケーションに積極的でない。－2
5. 時間がない・時間がかかる。－4
6. その他－9
 - ・より多くの患者さんにコミュニケーションに積極的になってもらえるようにかかわりたい。
 - ・機器の導入にあたっての補助金やサービスがあれば知りたいです。(在宅の方だけでなく入院の方)
 - ・新しい情報がほしい
 - ・患者さんに最適なスイッチが見つからない。
 どの動きを利用すればいいのか、どの機器が適しているのかなどの選定
 - ・身体状態に合わせたスイッチ方法の選択
 - ・機器導入に関する制度について知りたい。
 - ・用具の調達、購入前に試したい場合
 - ・どのタイミングでどんな方法を提案したらよいかわからない。不安がある。

意思伝達装置の認知度

講座を受ける「前」に、意思伝達装置についてどれくらい知っていたのかを教えてください。

	知っていた使った こともあった	知っていたが使った ことはなかった	全く知らなかった
透明文字盤	11	15	2
口文字	4	15	8
レッツチャット	8	12	7
伝の心	9	16	3
オペレートナビ	1	10	16
Hearty Ladder	8	6	13
スイッチの適合	9	8	10
視線入力	6	12	9
iPadのスイッチ操作	2	8	17

講座についての理解度

どれくらい理解できたかを教えてください。

	とてもよく理解できた。人に教えられる。	まだ練習が必要だが、理解できた。	どちらともいえない。	まだ不安がある。自信がない。	まったく理解できなかった。
透明文字盤	7	20	0	0	0
口文字	1	10	3	9	2
レッツチャット	4	20	1	2	0
伝の心	5	18	2	2	0
オペレートナビ	2	9	12	2	1
Hearty Ladder	4	14	4	2	1
スイッチの適合	4	6	12	1	1
視線入力	3	11	6	1	3
iPad のスイッチ操作	3	7	8	3	3

【アンケート集約】

受講しての感想、聞きたかったことなどをお書きください。

- ・機器の使い方を教えていただけ、患者さんの実際の声なども聞くことができ、よかったです。ありがとうございました。
- ・コミュニケーションの手段も選択肢が多く、勉強になりました。使われる方の立場にももっと添って考えられるようにつなげていきたいです。
- ・透明文字盤の使い方がわかりました。
- ・いろんなコミュニケーションのためのプログラムがあると知ることができてよかった。
- ・透明文字盤は簡単に使えるが、疲れるので、他の方法ができれば、常用するのであればそちらのほうがよいと感じた。ストレスなく使うには、練習が必要と感じたため、まずは支援者が使いこなせるようにならなければいけないと感じた。
- ・伝の心とレッツチャットなどの導入機器の選定について
- ・将来自分が進む可能性があるので、わかりやすくよかった。
- ・iPad のスイッチ操作
- ・機器の体験や新しい情報、当事者のお話など、内容の濃い講座でした。
- ・事例をたくさん挙げていただいたので、自分が関わっている当事者さんの問題点と照らし合わせながら考えることができた。
- ・知ってはいたが、なかなか実践する機会のないことばかりだったので、良い経験となりました。
- ・iPhone の入力についてわかりよかったです。
- ・当事者様の生の声を聞くこともでき、透明文字盤、口文字の方法（アナログ）も学べてよかった。機器も知ることができ、とても勉強になりました。

- ・実際の機器に触れられて、とてもよい経験になりました。
- ・実際にコミュニケーションされているところや、上手くされている場を見て、症状が進行してもその方の思いを聞くことができることに感動しました。口文字や文字盤など難しいことは多くありますが、理解しようとする姿勢を大事にしていきたいです。
- ・新しい機器がどのようなものかわかりました。
- ・当事者様の生の声（気持ち）や訴えを聞くことで今後 cl を通してつなげていきたい。
- ・日頃どう対応していくか、具体例。
- ・意思が伝えられることで、利用者さんの世界が広がるのがとても実感できた。まだまだ知った段階なので、利用者さんに使用できるように知識を深めていきたい。

最初に答えていただいた困っていることは、今回の講座を受けて解決しそうですか？

1. 解決すると思う-19

→参考になったプログラムはどれですか？

- ・意思伝達装置の使い方についてのプログラム
- ・全てです。
- ・透明文字盤の使い方
- ・Hearty Ladder
- ・レッツチャット、伝の心
- ・透明文字盤、口文字実習、Nさんを囲むセッション、グループワーク
- ・スイッチの適合
- ・iPadのスイッチ操作
- ・石松先生の講義
- ・プログラムではなく、誤操作が多くなれば、変字の時期といわれ、参考になりました。
- ・当事者のコミュニケーション実践
- ・配布資料より
- ・透明文字盤、iPad

2. 解決しないと思う-2

→どのようなプログラムがあればよかったですか？

- ・スイッチの適合について。不随意運動が強い場合など
- ・YLSNの活動、訪問かデモ品。

以上